白山市 IoT 推進ラボ 発足

金沢工業大学白山麓キャンパスを拠点に「スマート里山都市」の創出を産官学民連携で実践

金沢工業大学が白山市尾口に建設中の「白山麓キャンパス (平成 30 年 3 月完成予定)」を拠点に、産 官学民連携による里山のスマートシティ化を目指す、白山市 IoT 推進ラボ (以下本ラボという) の発足 式を 6 月 29 日 (木) に開催します。

この本ラボは、白山市と金沢工業大学との協力協定を軸に、産業界や地域住民との連携から、里山都市における新たなライフスタイルの創造をテーマに、IoT、BIGDATA、AI等の先端技術を駆使して、里山地域の課題解決やイノベーションの創出に向けた様々な実証実験に取り組むものです。

本ラボは、今年3月に経済産業省が推進する地方版 IoT 推進ラボ事業に認定され、白山市、金沢工業大学(事務局)、株式会社 NTT ドコモ、株式会社アイ・オー・データ機器、株式会社金沢総合研究所、goowa 株式会社、マルティスープ株式会社が、申請時におけるメンバーとして参画しています。

今年度の具体的な実施事業としては、株式会社 NTT ドコモと金沢工業大学が中心となり、LPWA((Low Power, Wide Area)に関する通信インフラ整備や、関連する IoT デバイスを用いた通信等の実証実験を行う環境を整備してまいります。

これらのインフラ面を整備すると同時に、以下の取り組みを推進する計画をしております。

- ・IoT デバイスを活用した里山の自然環境のオープンデータ化と可視化
- ・里山地域の3次元空間情報を収集し、自動運転やドローンの自動飛行への活用
- · IoT デバイスと里山の自然環境を融合させたクリエイティブ玩具の開発
- · IoT デバイスによるバイタルデータの収集と予防医療の高度化に向けた検討
- ・人工知能を活用した里山に住む方々の成長支援システムの検討…等 ※現時点で構想段階のものも含まれます

このほか、全国の里山が抱える課題である、公共交通、教育、福祉医療、森林の管理等をテーマに、 課題解決に向けたアイディア創出やモックアップの開発に取り組む、「ハッカソン(hackathon)」の開催 (場所:白山麓キャンパス周辺)を9月中旬に計画しています。

今後、発足式を経て、本ラボへの参画企業の拡大を図ると共に、先に述べたようなイノベーションに 取り組む産官学民連携のワーキンググループを発足させ、イノベーションの創出と、イノベーティブ人 材の創出の両面から、国内外に多数存在する里山をスマート里山都市へと変革するロールモデルを目指 してまいります。

地域における IoT プロジェクト創出のための取組を「地方版 IoT 推進ラボ」として選定し、地域での取組を通じた IoT ビジネスの創出を支援します。

出展: http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/local_iot-lab/

白山市 IoT 推進ラボ 発足式

【日時】 平成 29 年 6 月 29 日(木)14:00~16:40

【場所】 白山市民交流センター(白山市倉光二丁目1番地)

発足式:1 階 シティーホール

交流会:地下1階 あさがお食堂

14:00-14:10 開会のご挨拶

白山市長 山田 憲昭 金沢工業大学 学長 大澤 敏

14:10-14:30 基調講演「地方版 IoT 推進ラボについて」 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 大幸 義徳 様

14:30-14:45 白山市 IoT 推進ラボへの期待

●株式会社 NTTドコモ

取締役常務執行役員法人ビジネス本部長 東北復興新生支援室長兼務 古川 浩司 様

- ●株式会社アイ・オー・データ機器常務取締役 事業戦略本部 本部長執行役員 販売促進部部長 濵田 尚則 様
- ●日本アイ・ビー・エム株式会社エンタープライズ事業本部中部支社 北信越支店長 岡 啓史 様
- 14:45-15:15 白山市 IoT 推進ラボについて

「ドコモの IoT の取り組みと白山市 IoT 推進ラボでの取り組み」 株式会社 NTTドコモ 執行役員IOTビジネス部長 谷 直樹 様 「白山市 IoT 推進ラボコンソーシアム発足に向けて」 金沢工業大学 産学連携局 次長 福田 崇之

15:15-15:30 休憩(交流会会場へ移動)

15:30-16:40 交流会(参加企業による情報共有等の交流プログラムを開催します)

16:40 閉会